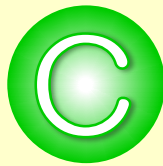




Palliative



Care



Communication

News

第31号

2025年8月 発行

31

緩和ケア通信

発行元 ◆加古川中央市民病院 緩和ケアセンター 連絡先 ◆緩和ケアセンター

外来麻薬処方
患者さん対象に

診察前 薬剤師面談 行っています

2022年4月よりがん性疼痛を有する**全ての**医療用麻薬処方患者さんを対象に、**診察前に**継続的な面談を行っています。今回は薬剤師の取り組みについて紹介します！

こんな事やっています

- 痛みや鎮痛薬の効果・副作用の評価
- その他の症状や薬剤の評価
- 薬の服用状況、残薬の確認

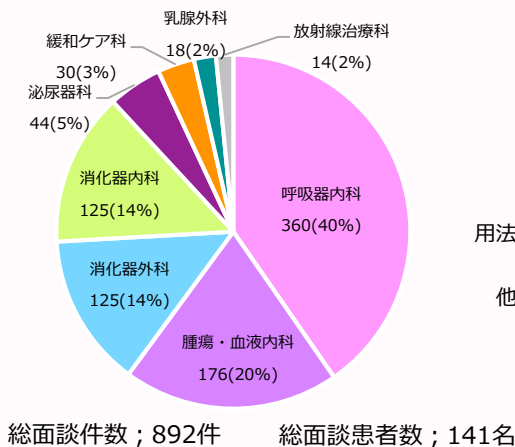


医師へ情報提供
処方提案、残薬調整

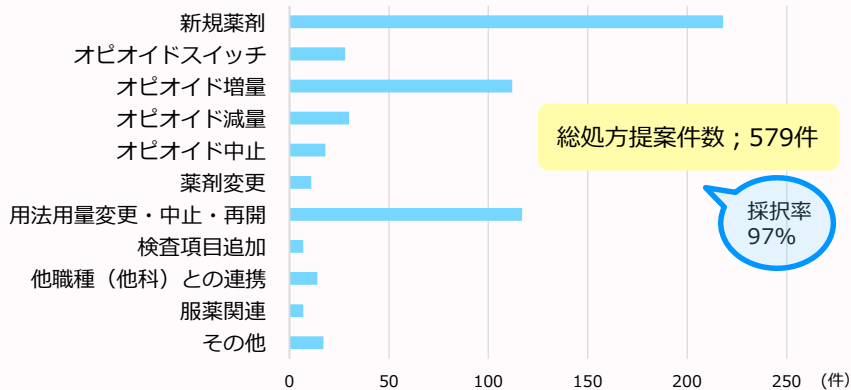


2024年度 活動実績

【面談件数】



【処方提案内容】



介入事例を紹介します！

症例① 70代 男性 肺多型癌 (stageIV)

化学療法が奏効し、数年前より再発なく経過されているが、オキシコンチン®TR40mg/日を継続して服用されていた



慢性疼痛に移行していると考え、主治医・患者と相談しながら5ヶ月かけて徐々に減量を行い、オピオイド離脱に成功

症例② 60代 女性 腓尾部癌 (stageIV)

化学療法中。食思不振が持続し、摂取困難な状況が続いていた



悪液質を疑い、エドルミズ®錠を提案。処方開始後、食欲は改善し体重は約5kg増加した

今後も引き続き、医師や他職種と連携して患者さんをサポートしていきたいと考えています。痛みやお薬の事でお困りの際はご相談下さい。